



2017年4月4日

各位

一般社団法人 日本化学工業協会
化学品管理部

中国での製品含有化学物質に関するワークショップのご案内

平素は格別の御高配を賜りまことにありがとうございます。

さてこの度、来る6月7日～9日に中国・上海で開催されますCES (Consumer Electronics Show <http://www.cesasia.cn/>) 2017に合わせて、弊協会の上部団体であるICCA (International Council of Chemical Associations / 国際化学工業協会協議会) がCESの運営者であるCTA (Consumer Technology Association / コンシューマー技術協会)の協力の下、電気・電子製品にかかる製品含有化学物質に関するワークショップを開催することになりました。このCESは、消費者向け技術業界の関係者が一同に集う世界規模のイベントで、今回アジア地区/中国・上海新国際博覧中心 (SNIEC) でのCESには、アジア各国からの多くの参加が予定されています。

ワークショップは、6月8日(木)9時～12時に円卓形式で開催され、電気電子業界のサプライチェーンにおける上流から下流までの関係会社約20名の出席を予定しております。ご存知のように電気電子業界における製造者は、情報の透明性の維持、適切な化学物質の選択やサステナビリティ等々のいくつもの課題を抱えており、このワークショップを通して、その共通な課題に関して化学メーカーからOEMまでの各関係者がよりオープンに討議し、電気電子業界が直面するプレッシャーや対応必要事項を理解することを目的としております。具体的には次のようなテーマが取り上げられる予定です。

- 物質の全情報開示 - 知的財産の保護、一般への情報公開、産業界別データベース
- 有害性と代替品の評価 - 利用可能なツール、考慮すべき要因、化学に特化した問題
- 製造工程での化学物質 - 有害情報伝達、特定化学物質の除外、制限物質リスト
- プラスチック - リサイクル要求項目、要求性能

同様なワークショップを本年1月 アメリカのCESにても開催し、参加者からは、たくさんのポジティブな感想をいただきました。貴社におかれましても、プロダクトスチュワードシップ等に関連の方でこのCESにご参加の予定があれば、是非、本ワークショップにもご参加いただきたく存じ上げます。

ワークショップは、全て英語で執り行われ、通訳等の準備はございませんが、ご参加いただける場合には、あらかじめ貴社名、参加者氏名、所属、連絡先等を弊協会担当 斎藤和邦 (ksaito@jcia-net.or.jp) までにご連絡いただけますでしょうか？

よろしくご検討方お願い申し上げます。なお、議事次第(案)は次項を参照ください。

国際化学工業協会協議会
バリューチェーンアウトリーチ タスクフォースチーム
日本・アジア地域代表

斎藤和邦

電気・電子製品にかかる製品含有化学物質に関するワークショップ議事次第（案）

- 9:00 – 9:15 開会の挨拶・自己紹介
- 9:15 – 10:00 各ステークホルダーの視点
- 10:00 – 11:15 各材料とそれが持つ課題とチャンス
- 一般化学品
 - プラスチック
 - 材料に特定の問題点
- 11:15 – 11:30 透明性と材質（物質）の開示
- 一般への情報公開の推進
 - 機密情報保護 (CBI)
 - 産業界別データベースと他のリソース
- 11:30 – 11:45 有害性評価と代替品評価
- 考慮すべき要因
 - 現在利用できるツール
 - 制限物質リスト
- 11:45 – 12:00 次のステップ
- 12:00 閉会